

図 書 館 事 業

〔1〕気軽にいつでも気持ちよく利用できる図書館

<目標・取組概要>

全ての市民に，気軽に，いつでも気持ちよく利用される図書館を目指します。

（1）市民の意向を反映した図書館運営

市民の意向を的確に把握し，市民が求めている図書館運営を目指します。

（2）多様な資料の収集・整理・保存

市民が各種情報を容易に得ることができるよう，多様な資料の収集・整理・保存に努めます。また，各種視聴覚資料及び逐次刊行物の収集・整理を行います。

（3）図書館サービスの強化

市民が求める図書館資料等をいつでもどこでも迅速に提供できるよう，サービスの強化に努めます。

（4）市民との協働

図書館と市民ボランティアとの協働で各種行事を展開することにより，市民への利用促進を図ります。

<自己評価>

（1）市民の意向を反映した図書館運営

① 図書館協議会で「守谷の図書館概要」を中心に運営状況を検証しています。公共図書館としての運営やサービスが適切に行われているかなど，市民の目線で意見を聴くことができました。

② 先進地視察研修では，指定管理者制度を導入した東京都武蔵野プレイスの視察を行い，先進的な取組事例について貴重な情報を得ることができました。

（2）多様な資料の収集・整理・保存

市民一人当たり500円の資料費をもとに，図書資料18,291冊，視聴覚資料442点，雑誌314タイトル，新聞35種を収集して資料の充実を図りました。

※ 近隣自治体の資料費

区 分	資料費（千円）	市民1人当たり（円）
牛久市	21,023	250.27
取手市	31,940	293.03
常総市	12,179	193.32
つくばみらい市	10,196	212.42
守谷市	37,223	581.61

県内市町村図書資料費ベスト5

順 位	市町村名	市民1人当たり（円）
1位	守谷市	581.61
2位	神栖市	490.11

3位	結 城 市	4 3 8 . 5 6
4位	東 海 村	4 3 2 . 0 0
5位	笠 間 市	3 9 7 . 5 2

(3) 図書館サービスの強化

利用状況は、年間の市民一人当たりの平均貸出冊数が13.1冊、一日平均貸出者は815人でした。

(4) 市民との協働

- ① 図書館を拠点に市民参加型ボランティアによる「読み聞かせ、本の修理、音訳テープ・点字本の作成等」積極的な活動をしています。図書館への登録団体・サークル数19団体で、会員は232人です。市民ボランティアによるおはなし会を、年間86回〔週2回程度〕、本の修理を週3日行うなど、市民との協働による図書館活動を進めることができました。また、市民ボランティアを養成する読み聞かせ講座を開き、新たな市民ボランティアを育成することができました。
- ② 生後3・4ヶ月児健診時に行っているブックスタート事業を月2回開催し、延べ655人の乳児の参加がありました。親子のふれあい、親子のコミュニケーションの大切さを伝えるため、ボランティアによる読み聞かせや絵本（2冊）を無料配布し、早くから本と触れ合う機会を設けるなど、親子のふれあいを支援しました。
- ③ 読書週間の催し物として、ボランティア団体による各種講座を開催し、多くの来館者でにぎわいました。また、同時に開催したりサイクルブックフェアでは、古くなった本の有効活用を図るため、初日に一冊100円の有料販売を行い、来館者353人に、1,668冊を販売しました。2日目は無料配布で553人に、4,839冊を配布しました。大変好評で、今後もリサイクルブックフェアを続けていきます。

<今後の課題と対応方向>

(1) 市民の意向を反映した図書館運営

自由かつ公平な市民サービスを展開するには、図書館運営及び各種行事を市民の目線で見たい意見等を聴くことが大切です。視察研修は、先進地でしか得られない情報や運営方法を研究するうえでも必要です。今後の図書館運営に生かしていきます。

(2) 多様な資料の収集・整理・保存

市民一人当たりの資料費は、県内トップと高水準であり、今後ともこの水準を維持していきたいと考えています。

(3) 図書館サービスの強化

貸出しや利用者の増加に対応するため、市民が求める資料及び情報提供、書架整理などを適切に行い、窓口サービスの向上に努めていきます。

(4) 市民との協働

- ① 読み聞かせ、ブックトーク、パネルシアターなど、市民が受講できる各種講座を行うことで、ボランティア活動を続けていただける方の育成と活動の場の確保に努

めていきます。

- ② ブックスタート事業のフォローアップとして、平成23年度から1歳6ヶ月児を対象とした親子への読み聞かせを始めましたが、参加者が一定してなく、かなり少ないときもあること、また、おはなしボランティアの人員が少なくなってきたこと、などの理由で今後開催方法等について検討する必要があります。
- ③ 読書週間の催しとして、ボランティアによる講座を開催していますが、マンネリ化しつつあります。実施団体と講座内容等を協議し魅力あるものにします。
- ④ 不用になった本を市民に活用してもらうため、今後もリサイクルブックフェアを続けていきます。

＜外部の方々から頂いた意見＞

- ＊ 図書館協議会で協議する重要な案件や諮問答申があるときは、協議会の開催回数を増やして欲しい。
- ＊ 豊富な資料収集と要望の多い視聴覚資料が充実している。
- ＊ 市民ボランティアによるおはなし会は、延べ2, 119人の参加者があり好評です。
- ＊ 子育て経験の豊かなボランティアの方もおり、赤ちゃんの扱い方が上手でした。
- ＊ リサイクルブックフェアで本を探すのが楽しみです。

〔2〕図書館機能の強化とサービスの充実

＜目標・取組概要＞

市民の知的欲求を保障し、日常生活に生かすため、図書館機能の強化とサービスの充実を図ります。

（1）図書館ネットワークの活用

図書館ネットワークの活用により、市民が求める資料及び情報を効率的、効果的に提供するサービスを行います。

（2）子ども読書活動推進

学校、保育所、幼稚園との連携を強化し、読書活動への支援を推進します。

＜自己評価＞

（1）図書館ネットワークの活用

図書館ネットワークを通じて、どこでも誰にでも、公平な利用案内、各種情報及び貸出返却を提供することができました。希望した予約の本を、配送サービスを使って最寄りの貸出窓口に、確実に届けることができました。

（2）子ども読書活動推進

学校図書館への奉仕員の配置及び学校図書館システムの導入効果として、検索機能の向上と窓口対応の迅速化が図られました。また、小中学校の児童生徒の年間一人当たり貸出数は、中学校で4.0冊とほぼ横ばいでしたが、小学校では22.8冊から25.9冊に増え、子ども読書活動の推進が図られました。

＜今後の課題と対応方向＞

（１）図書館ネットワークの活用

本の予約・リクエストは増加傾向にあり，一日平均４９１冊でした。これらの準備や配送を，火曜日から日曜日まで毎日，確実に行っていかなければなりません。このため，図書館及び公民館図書室間の配送やブックポストの回収など，配送等の仕方を再検討する必要があります。

（２）子ども読書活動推進

学校図書館の利用拡大を図るため，図書館と学校図書館との情報交換を密に行うとともに，学校図書館システムの有効利用について検討が必要です。

＜外部の方々から頂いた意見＞

- ＊ 本の予約をインターネットや窓口で申し込みをすると，最寄りの図書室への配送があるので大変便利です。
- ＊ ブックトークなどに児童生徒の保護者ボランティアの活用を図るべきです。

〔３〕施設・設備の安全

＜目標・取組概要＞

誰にでも使いやすい図書館を目指し，施設環境の整備，充実に努めます。

（１）良好な施設環境の整備

保守点検及び修繕に努め，市民に快適な空間を提供できるよう努めます。

＜自己評価＞

（１）良好な施設環境の整備

- ① 空調設備等の補修工事を行うことで，快適な図書館利用に努めました。
- ② 児童フロアと事務室の窓にゴーヤによるグリーンカーテンを設置し，環境に配慮した空間を提供することができました。

＜今後の課題と対応方向＞

建設から１９年が経過し，施設の老朽化が進んでおり，計画的な施設改修が必要です。

＜外部の方々から頂いた意見＞

- ＊ 開館時間を延長してほしい。